

# クリエイターと 生成AI

新たな可能性か、  
努力へのただ乗りか？  
IPをめぐる世界の議論を眺める

音楽、イラスト、短編小説、映像、俳優…。急速な進化を続ける生成AIは既に生活やビジネスに深く溶け込み、従来10～20年では置き換わらないと言われたクリエイティブの分野でも予想を超えるスピードで実用化が進んでいます。それはクリエイターにとって新たな可能性か、努力へのただ乗りか？ 知的財産(IP)とAIをめぐる世界の議論から考えます。

4月16日 木

16:30-18:00

日吉キャンパス来往舎 1階  
シンポジウムスペース

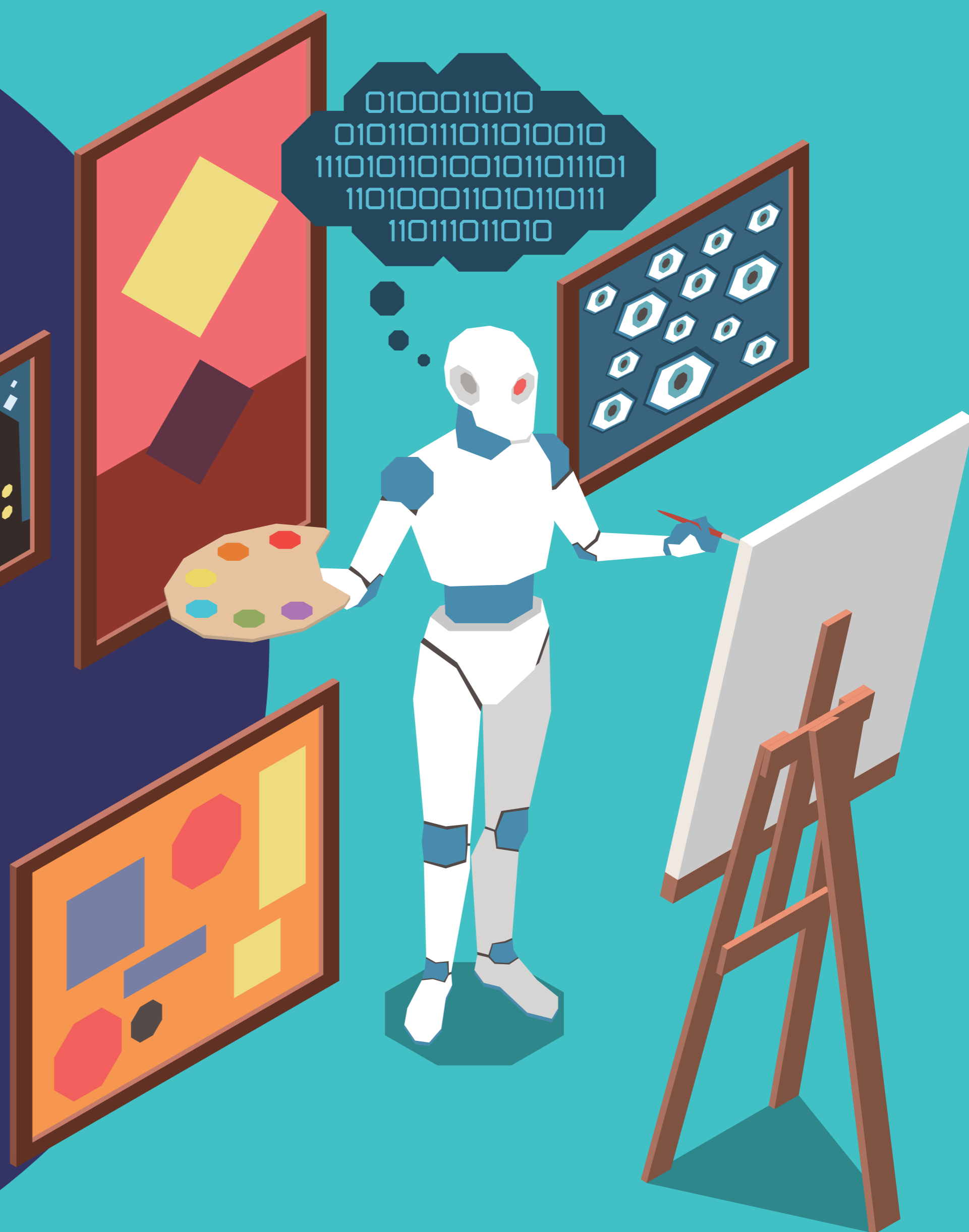
対象 / 塾生・教職員 ※無料/事前登録  
※申込者多数の場合は塾生を優先します。

問い合わせ / [toiawase-lib@adst.keio.ac.jp](mailto:toiawase-lib@adst.keio.ac.jp)

事前申込制

受付開始 ▶ 3月31日 木 午前10時～

<https://forms.gle/DeyseGtAeRF3oyom7>



## 講師 / 福井健策

弁護士(日本・ニューヨーク州)  
日本大学芸術学部・神戸大学大学院・  
芸術文化観光専門職大学(CAT)客員教授

1991年 東京大学法学部卒。1993年 弁護士登録(第二東京弁護士会)。米国コロンビア大学法学修士課程修了(セゾン文化財団スカラシップ)、シンガポール国立大学研究員など経て、現在、骨董通り法律事務所 代表。

著書に「改訂版 著作権とは何か」「誰が「知」を独占するのか」(集英社新書)、「エンタテインメントと著作権」全5巻(シリーズ編者、CRIC)、「エンタテインメント法実務」(編著・弘文堂)、「18歳の著作権入門」(ちくま新書)、「ロボット・AIと法」(共著・有斐閣)ほか。内閣府・文化庁ほか委員、デジタルアーカイブ学会副会長、日本舞台芸術ネットワーク常任理事、EPAD代表理事、クリエイターエコノミー協会監事、日本文学振興会評議員などを務める。2026年 第76回芸術選奨文部科学大臣賞 受賞。